

※インフルエンザ定点当たりの患者報告数

県内に80の定点医療機関があり、患者報告数が80人であった場合、定点当たりの患者数が 1.00 となり、これが流行開始の目安となる。なお、この定点当たりの患者報告数が 10.00 になると注意報、30.00 になると警報レベルの目安となる。

1 インフルエンザの流行状況について

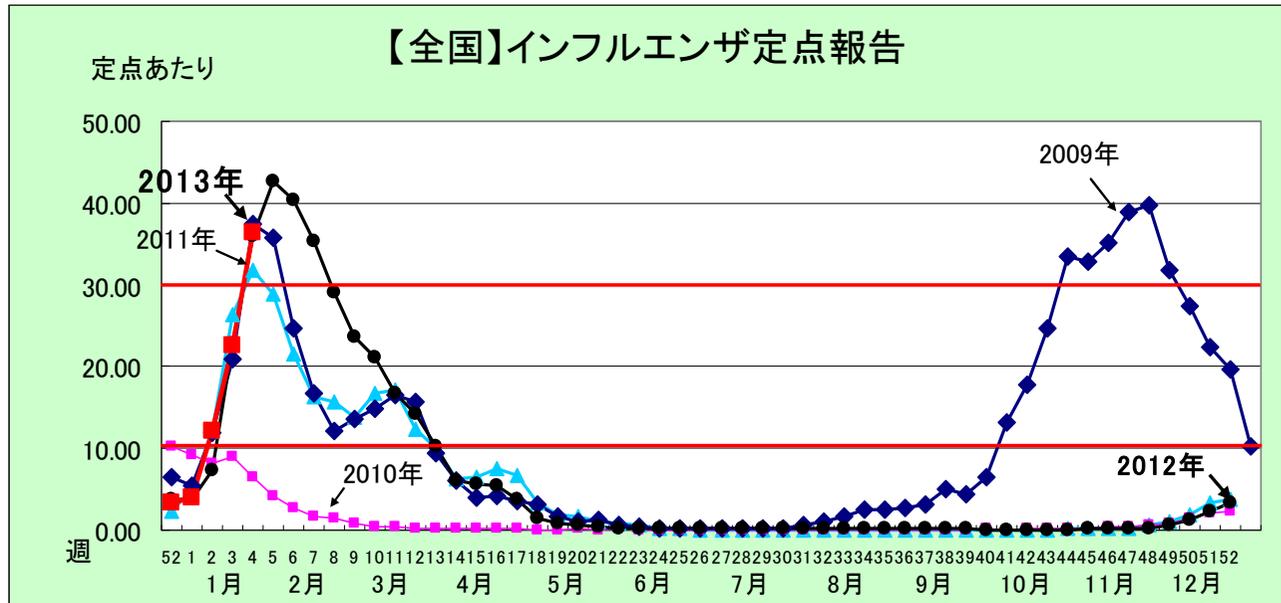
■全国の流行状況

2012年第50週(12/10~12/16)に定点当たり患者報告数が1.17となり、流行入りの目安を超えました。

2013年第4週(1/21~1/27)の定点患者報告数は**36.44**となり、警報基準値を超え、前週の報告数22.58から大幅に増加しました。

九州(沖縄を除く)では、熊本を除く全県で報告数が警報基準値である30.0を超えました。

2012年第36週以降これまでの国内のインフルエンザウイルスの検出状況を見ると、AH3亜型(A香港型)が最も多く検出されています。



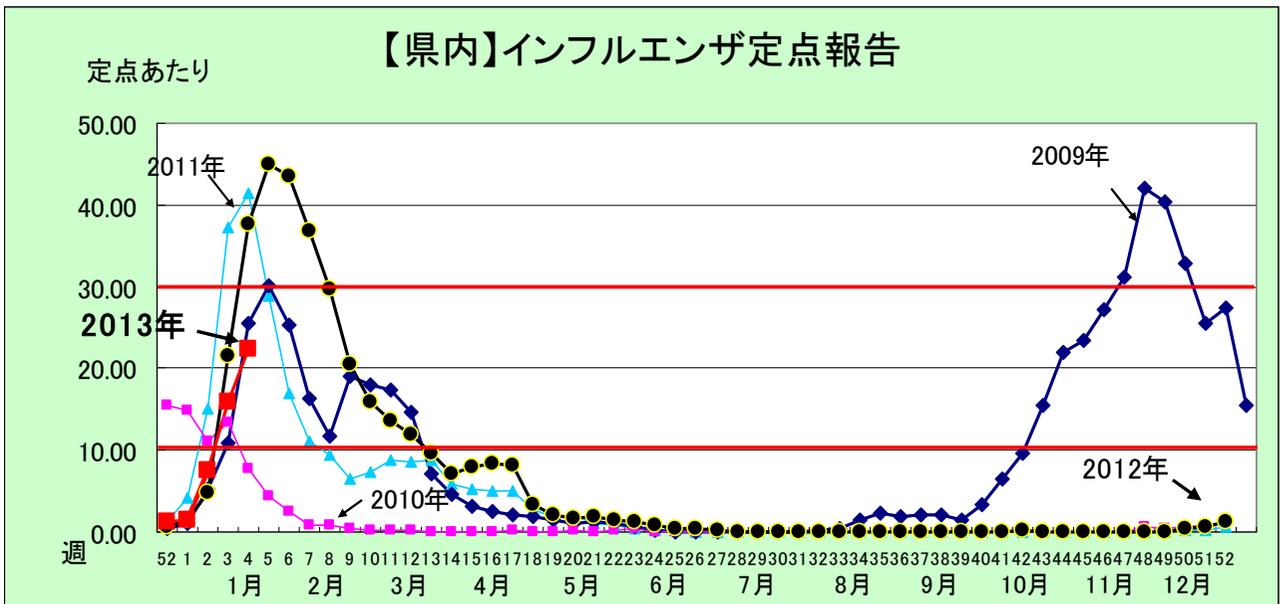
■県内の流行状況

2012年第52週(12/24~12/30)に県内の定点当たり患者報告数が1.16となり、流行入りの目安を超えました。

2013年第4週(1/21~1/27)の患者報告数は**22.40**となり、前週の報告数15.83から約1.4倍増加しました。

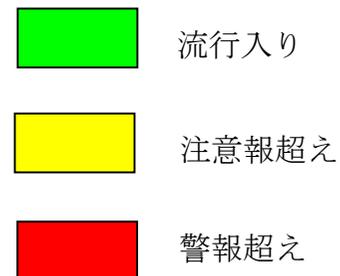
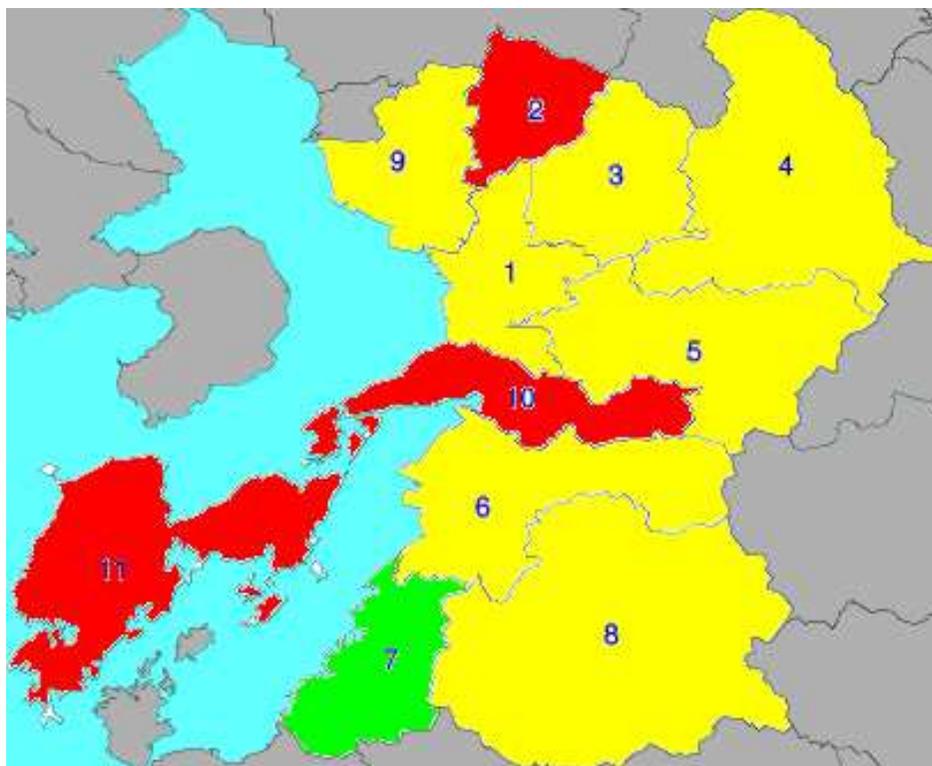
地域別に見ると、先週警報基準値に達した天草保健所管内に続き、今週は山鹿、宇城保健所管内で警報基準値に達しました。

その他の地域も、水俣保健所管内を除き注意報基準値に達しており、確実に流行が拡大しています。



■ 2013年第4週の県内インフルエンザ流行状況（定点報告）

※天草保健所管内に加えて、今週あらたに、山鹿、宇城保健所管内の患者報告数が警報基準値を超えました。



保健所	定点報告数
1 熊本市	20.64
2 山鹿	34.00
3 菊池	27.00
4 阿蘇	14.33
5 御船	12.00
6 八代	22.71
7 水俣	9.33
8 人吉	11.20
9 有明	26.00
10 宇城	33.50
11 天草	29.00
平均	22.40

シーズン	流行入り	注意報超え	警報超え	ピーク	備考
2008-2009	2009年第1週 (H20.12.29~H21.1.4)	2009年第3週 (H21.1.12~1.18)	2009年第5週 (H21.1.26~2.1)	2009年第5週 (H21.1.26~2.1)	
2009-2010	2009年第34週 (H21.8.17~8.23)	2009年第43週 (H21.10.19~10.25)	2009年第47週 (H21.11.16~11.22)	2009年第48週 (H21.11.23~11.29)	新型インフルエンザ発生
2010-2011	2010年第52週 (H22.12.27~H23.1.2)	2011年第2週 (H23.1.10~1.16)	2011年第3週 (H23.1.17~1.23)	2011年第4週 (H23.1.24~1.30)	
2011-2012	2012年第1週 (H24.1.2~1.8)	2012年第3週 (H24.1.16~1.22)	2012年第4週 (H23.1.23~1.29)	2012年第5週 (H24.1.30~2.5)	
2012-2013	2012年第52週 (H24.12.24~12.30)	2013年第3週 (H25.1.14~1.20)			